

## 式 辞

春爛漫の言葉のとおり、木々に緑が映え、種々の花々が咲き、光あふれる季節を迎えました。すべてのいのちが輝く、この佳き日に、日頃から本校に格段のご高配をいただいておりますご来賓の皆様、並びに保護者の皆様のご臨席を賜り、令和8年度長野県上田高等学校入学式を挙行できますことに、職員一同、厚く御礼申し上げます。

保護者の皆様、お子様のご入学を心からお祝い申し上げます。これまで陰になり日向になり育ててこられたお子様が、義務教育を終えて晴れの高校入学を迎え、感慨もひとしおかと拝察いたします。

さて、ただいま入学を許可いたしました全日制279名、定時制19名の新入生の皆さん、入学、おめでとうございます。

本校は、1900年に長野県上田中学校となって以来、今年127期の新入生となる皆さんを迎えた、歴史と伝統のある高等学校です。

平成27年からは、スーパー・グローバル・ハイスクール、令和2年からはWWLコンソーシアムの拠点校として文部科学省の指定を受け、イノベーティブなグローバルリーダーの輩出を目標に、探究的な学び、国際的な学びにより、長野県をリードする先進的な教育を行っております。

また、定時制は県内でも最大級の生徒が在籍していますが、生徒一人ひとりの希望に寄り添う、丁寧できめ細やかな指導・支援を行っております。本校の、こうした定時制教育は、地域の皆様をはじめ、広く定評をいただいているところです。

新入生の皆さん、皆さんは、このような本校を志望校と決め、地道な努力を積み重ね、夢と希望を抱いて入学して来ました。

ようこそ、上田高等学校へ。

教職員一同、心から歓迎します。

いま、念願の高校で学ぶ機会を得た喜びをかみしめている時かと思えます。今日の喜びは、皆さんの、これまでの努力の結晶であることはもちろんですが、その影には皆さんを慈しみ育ててくださったご家族や先生方、そして、地域の皆様の愛情やお力添えがあったことを忘れてはなりません。それら数多くの善意や声援に、深

令和8年度長野県上田高等学校 入学式

い感謝の気持ちを持ちつづけてください。

さて、新入生の皆さんに、高校生活の心構えについてお話します。

現代は、技術革新、災害、紛争などにより、将来の予測が困難な先行き不透明な時代、VUCA（ブーカ）の時代といわれて久しいです。例えば、AIによる技術革新は、すでに、われわれの身近な生活に影響を及ぼしつつあります。2023年にOpenAI社とペンシルベニア大学が共同で発表した論文では、全職業の八割がAIの何らかの影響を受け、さらにその中の二割ほどは、労働の半分がAIに置き換えられるとされています。近い将来、自動運転車、人型ロボット、ChatGPTなどのAIアシスタントが本格的に社会に浸透すると、これが現実のものとなるかも知れません。

このような時代において、人間に求められる力は何でしょうか。私は「創造力」であると考えます。「創造力」とは、「新しい価値を生み出す力」のことです。では、どうしたらこのような力が身につくのでしょうか。

認知科学者のマーガレット・ボーデンは、「創造」とは「偶然のひらめき」ではなく、知識に基づくものであり、身につけた知識を自分の頭でもう一度組み立て直すことで、新たな価値を生み出せる、としています。簡単に言えば、「創造力」を身につけるために必要なのは、幅広く「学ぶこと」と自分の頭で「考えること」だけということです。

皆さんには、これからの時代を生き抜くためにも、本校での3年間、ないし4年間の高校生活の中で、校歌の歌詞にもある「試百難」の心構え（困難から逃げない、周到的な準備をする、最後まで粘り抜く）をもって、大いに学ぶこと、大いに考えることを期待します。

結びに、皆さんの、本校で過ごすこれからの日々が、輝ける未来に向けた希望を育むものであること、皆さんを大きく成長させるものであることを願って、式辞といたします。

令和8年4月7日

長野県上田高等学校長

柳澤 弘蔵